

学籍番号 1810100248

2年10組24番

寺本知史

# 飯箸ゼミ最終発表

1. 自己紹介
2. 役割
3. アンケート結果公表
4. アンケート結果考察
5. 反省・まとめ
6. 1年間ゼミ活動をおこなって

# Profile

- ・ 名前：寺本知史



- ・ 出身地：東京都荒川区
- ・ 生年月日：1990年 4月4日
- ・ 趣味：ゲームしたり映画見たり
- ・ サークル：フリーペーパー工房bootleg製作委員会



# ゼミでの役割

- ・ 副ゼミ長
- ・ JONJON企画グループ  
ゼミアンケート班

# アンケート集計結果

前期（敬称略）

大黒・牛尾・吉田・竹中・富樫

後期

川島・清原・箸本・細野・河島・江下

計、**127人**分のアンケートを得ることに成功。  
が、反省点も多かった。

<http://ameblo.jp/iihashi2011/>

# アンケート結果考察①

・ゼミによって選択したコースに偏りがみられた。

江下ゼミ：10/13→Dコース

大黒ゼミ：9/18→Dコース

牛尾ゼミ：8/10→Bコース

→来年度に向けたゼミ選択を行っている人が多かった。

## アンケート結果考察②

- ・ゼミを選択した理由については  
→先生の講義を過去に受けて。

- 先生に惹かれたから。

などの好意的な意見もある一方で

- 時間割の都合で。

- 第一志望に落とされて。

といったネガティブな意見も見られた。

# アンケート結果考察③

- ・ゼミメンバー同士の仲のよさに関して  
→仲はよい。  
という感想が大半を占めた。

ただ、こういったアンケートであえて、「仲が悪い」と答えるケースはほとんど稀だと思われる。



# まとめ

127人のアンケートを回収したが、

似かよった回答が大半だった。

当初の目的では、ゼミを通して情コミのイメージを掴もうとしたが、この結果では目的を達成するような結果は得られなかった。

また、どれもありきたりな回答が大半で特徴に欠けるものばかりだった。

# 反省1

今回ゼミアンケートを行って分かったこと

・ 質問事項・内容の吟味が重要

→回答者が質問項目を見て「？」と感じるような質問だと期待した回答を得られない  
また、先述したとおり似たような回答が集まってしまう。

# 反省2

- ・ 質問事項の吟味のためにも入念な準備をするべきだった。

→ アンケート直前まで内容に関して議論を重ねたが、それがかえって二転三転を引き起こし、実施までブランクが発生した。

→ ブログに載せる作業や、**サイト製作班との連携を遅らせる原因**となった。

無意味に時間をかけるのではなく、

**スケジューリング**をしっかりとすべきだった。

# 反省3

- ・ アンケートを行う際の許可を早急にとる。

→短いアンケートではないので、ゼミの時間に  
食いこんでしまう。

理想としては実施の2週間前までに許可をい  
ただきたかったが、前述のスケジューリング  
不足や、先生方の多忙も重なり、許可を得る  
のにも時間がかかった。

# 反省4

- ・ アンケートのネット公開について  
→ 予めアンケートのネット公開に関しては趣意書などで先生方には通知をしていた。

しかし、事務からなかなか許可がおりず、どこまで公開していいのか判断もつかず、結果として**JONJON本サイトでの公開もできなかった**。（現在はブログで内部のみの公開）

# まとめ

- ・ スケジューリングの重要性
- ・ 事務との折り合いのつけかた
- ・ 仕事の迅速化
- ・ 残念ながら、今回得たデータでは当初の目的を達成できたとは言い難い。

→しかし、普段目にすることのできないデータの収集は実現したと言える。

# 1年を振り返って

- ・ 企画決定には**明確な目的**を持つ必要がある。

全員が納得した上での企画でないと、途中で手がつけられなくなる。

- ・ リーダーには**求心力・決断力**が求められるのはもちろん、メンバーにも積極的な行動・議論への参加が求められる。

ご清聴ありがとうございました。